

くらしをまもり
未来をつくる

連合和歌山

連合わかやま

日本労働組合総連合会
和歌山県連合会
〒640-8317
和歌山市北出島1丁目5-46
TEL (073) 436-0501
FAX (073) 436-5226
発行責任者 濱地 正由

連合和歌山に集う組合員の皆さま、明けましておめでとうございます。ご家族共々つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は連合和歌山の様々な活動に対し、ご理解とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。おかげさまで執行部、地域協議会、青年・女性委員会それぞれが構成組織と緊密に連携を図りながら、春季生活闘争を始めとする暮らしの底上げ、県・市などの自治体に対する政策・制度要求と提言、各級選挙への対応、森林保全活動や列島クリーンキャンペーン、平和行動ならびに各種街頭行動、ボランティア活動、未組織労働者の組織化など、コロナ禍による感染対策のもと多岐にわたる連合運動を展開することができました。あらためて組合員の皆さまに心から敬意を表する次第です。



連合和歌山会長
山本 龍一

さて、我々を取り巻く環境は決して楽観視できる状況にはなく、新型コロナウイルス感染症の収束が未だに見えない中、ロシアのウクライナ侵攻により世界秩序が大きく崩れ、その影響から日本経済は低迷したままであり、エネルギー価格の高騰や記録的な円安、物価高の連鎖など、社会的悪循環により格差や貧困がますます助長され、苦しい生活を余儀なくされている労働者の悲痛な声が後を絶ちません。今こそ労働組合の役割・責任を大いに果たすべき時であります。

本年は、労働諸条件の改善と政策実現活動という運動の両輪である「2023 春季生活闘争」、「統一地方選挙」が喫緊の課題であり、連合和歌山の総力を結集して取り組むことが肝要です。

また、「ジェンダー平等」、「男女共同参画」のさらなる推進も重要なテーマであり、多様性を重んじる社会の実現に大きく寄与しなければなりません。組合員お一人お一人のご協力を心から願います。

本年の干支は「癸卯（みずのと・う）」であり、何かに行き詰まった時は活路を見出し変化が生まれるチャンス到来、また新しいことへの挑戦に適した年と言われております。

希望は「光」であるが故に人を魅了します。連合和歌山に結集する3万人の組合員が一致団結して希望の光を掴むべく、声を掛け合い、そして励まし合いながら2023年を飛躍の年にしようチャレンジして参りましょう。

皆さまにとりまして幸多き一年となります事をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



2023年1月 連合和歌山 会長 山本 龍一

皆さま、明けましておめでとうございます。

日頃からの連合運動へのご理解とご支援に心より御礼申し上げます。

コロナ禍の下で4度目の新年を迎えました。コロナウイルスとの闘いは、3年におよんでもなお、その克服を見るに至っていませんが、医療をはじめ、人々の生活を支える様々な分野で多くの皆さんが懸命に努力を重ねていただき、最近では、ようやく社会経済活動が正常化しつつあるように感じています。引き続き、感染防止に努めながら、この間の経験と知見を踏まえた新しい運動様式に引き続き挑戦して参りましょう。



連合会長
芳野 友子

昨年来、「コロナ禍、物価高、円安」の「三重苦」が私たちの日々の生活を苦しめ続けています。特に弱い立場・不安定な立場にある仲間の雇用と生活に深刻な打撃を与えており、連合にはそうした方々から、くらしの窮状を訴える相談も寄せられています。新年をお祝いしながらも、年末年始を寒さと苦しさの中で過ごした方々へも心を寄せましょう。連合が、すべての働く方々はもちろんのこと、困難な状況にある方々の「必ずそばにいる存在」となれるよう、誰一人取り残されることのない包摂に満ちた一年を実現できるように年頭にあたり皆で決意を新たにしましょう。

そのような中、2023 春季生活闘争の基本方針として28年ぶりに賃金要求指標を5%としました。この方針は、2014 闘争から積み上げてきた「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの上に、現下の状況を総合的に勘案したものです。あわせて、「賃上げ実現・くらし支援 あしたを変える連合緊急アクション」もスタートさせ、社会全体での賃上げに向けた機運づくり、すべての働く人の雇用と生活をまもる政策の実現、地域での支え合い・助け合いをすすめて参ります。

一方、今期掲げた連合運動の取り組み課題に関して、世界経済フォーラムが2022年7月に発表した各国のジェンダーギャップ指数では、日本は146か国中116位という結果でした。多様性を重んじる労働運動だからこそ、あらゆる分野に先んじてジェンダー平等が実現されていかなければなりません。そのためには、身近なことから少しずつ変えていく取り組みが必要です。私たち自身がけん引役となって、誰にとってもより良い社会となるよう努力して参ります。そのような中、昨年開催されたITUC世界大会において、新会長に連合参与の郷野晶子さんが就任されました。同時に、ITUC女性委員会委員長には、連合の則松副事務局長も選出されました。世界と日本の労働運動において女性がトップを務めることとなり、改めて身の引き締まる思いです。連合としても精一杯、その取り組みを支えて参りたいと思います。

さて、12年前の東日本大震災から干支が一回りしました。大災害や疫病によって社会や人々の価値観が変わってきたように感じます。私たち連合は、「たとえ今後どのような社会の変化が起ころうとも、未来に向かって挑戦し、希望あふれる未来へと変えていくことができるのは、私たち自身である」と記した「連合結成30周年の決意」を胸に、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて取り組んで参ります。卯年にあやかり、連合運動がより一層、跳躍することができますよう皆さまのご支援をお願いします。本年が皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。ともに頑張りましょう！



2023年1月 連合 会長 芳野 友子